

AMLの作業状態設定について

AML（過負荷防止装置）は、アウトリガ張出幅の設定、ブーム、シングルトップ、ジブの作業状態の設定を誤ると、自動停止機能が働かず、クレーンの転倒または破損による重大災害が発生する恐れがあります。災害を防止するため、次の点を十分理解のうえ、常に正しいAMLの作業状態設定を行ってください。

※ AMLの作業状態設定を誤ると、クレーンが転倒または破損する場合があります！

《危険な設定例その1》

●ジブ張出状態なのに、誤ってブーム作業状態にすると



ブーム性能では安定の余裕が少なく、自動停止する以前にクレーンが転倒することがあります。

【理由】 AMLは「ジブがベースブームに格納されている」ものとして制御しますので、危険な状態になっても自動停止せず、転倒する場合があります。

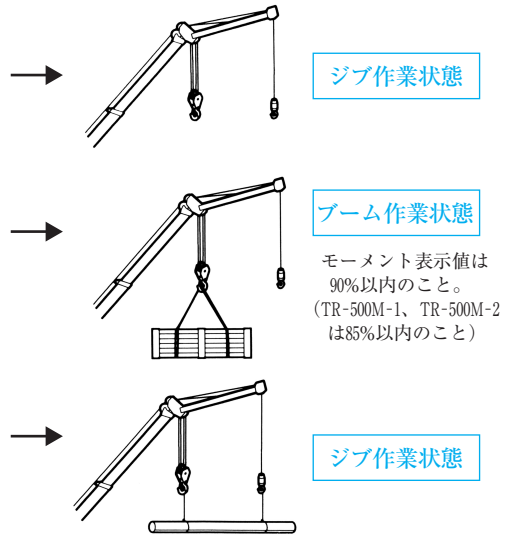
○ジブ張出状態では、AMLをジブ作業状態に設定する。

※やむを得ず、特殊作業を行う場合の警告



①ジブ張出状態でやむを得ずブーム作業を行う場合、作業状態の設定は“ブーム作業”とし、作業中はAMLのモーメント表示値が90%（TR-500M-1、TR-500M-2の場合は85%）以下で作業をしてください。モーメント表示値がこれを越えた場合、クレーンの自動停止機能は作動せず、転倒する場合があります。

②ジブ張出状態で、主巻ウインチと補巻ウインチをやむを得ず併用して、一つの荷を吊り上げる作業を行う場合、作業状態の設定は、ブーム作業ではなく、“ジブ作業”としてください。また、吊り荷（吊り具を含む）の重量がジブの定格総荷重以下であることを確認したうえで作業を行ってください。吊り荷を、主巻ワイヤーロープを緩めて補巻ワイヤーロープだけで吊り上げると、吊り荷の重心位置が移動してモーメント表示値が増大し、過負荷になる場合がありますので注意してください。



《危険な設定例その2》

●ジブ張出状態なのに、誤ってシングルトップ作業状態に設定すると



シングルトップ性能では安定の余裕が少なく、自動停止する以前にクレーンが転倒することがあります。

【理由】 はその1と同様です。

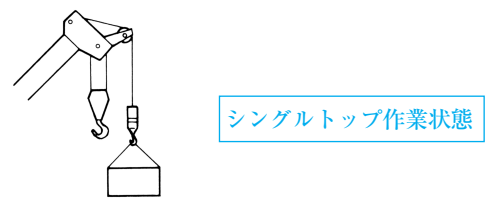


《危険な設定例その3》

●シングルトップ作業なのに、誤ってブーム作業状態に設定すると



ブーム性能ではシングルトップ強度の余裕が少なく、自動停止する以前にクレーンが破損することがあります。



取扱説明書に従って作業前点検を行い、AMLシステムが正常に作動していることを確認してから作業を行ってください。AMLシステムが正常に作動していない状態で作業を行うと、クレーンは自動停止せず、転倒または損傷する場合があります。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ

